

このたびは、YKK AP商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

変更 最終チェックポイントを追加しました。
(→本説明書裏面 注意/施工手順 参照)

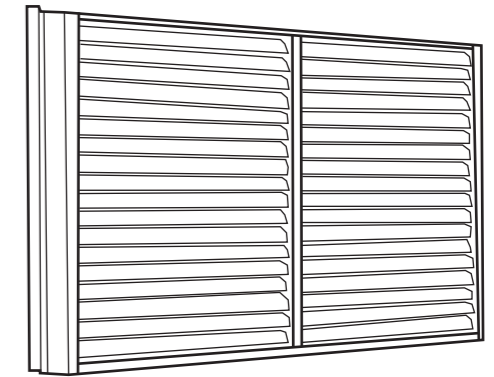
本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

裏面の注意/施工手順を貼って作業を行ってください。

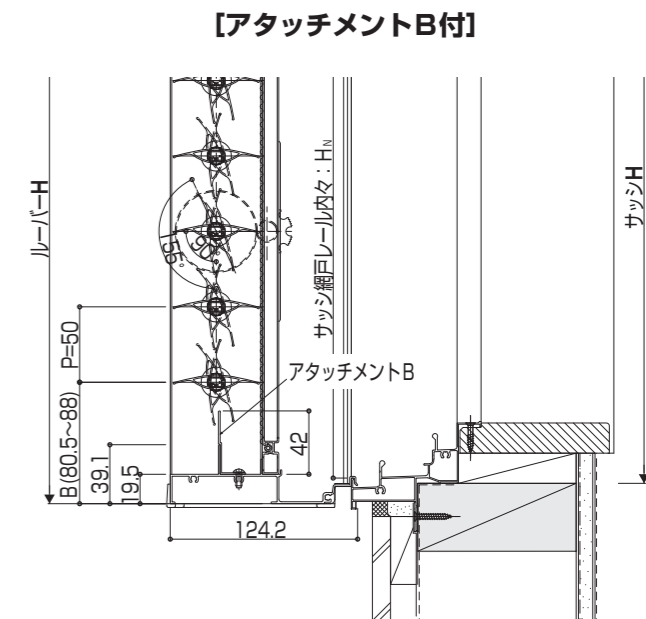
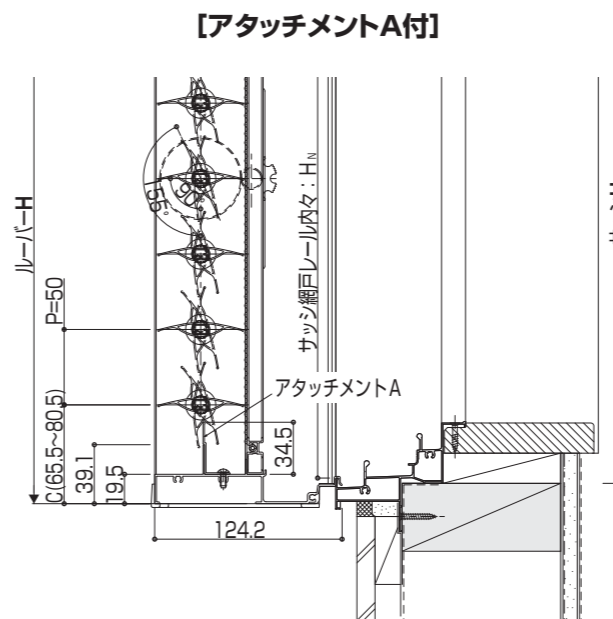
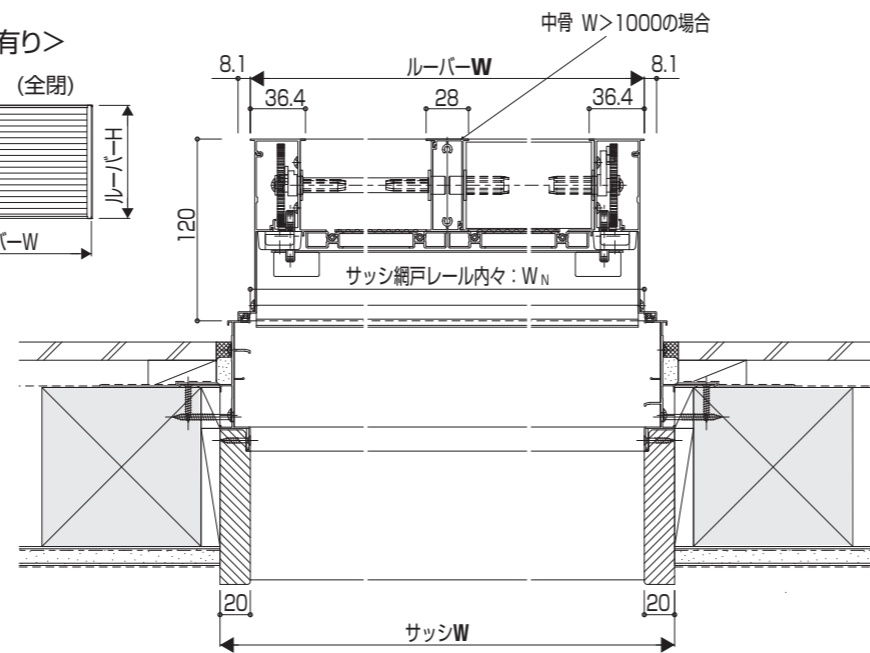
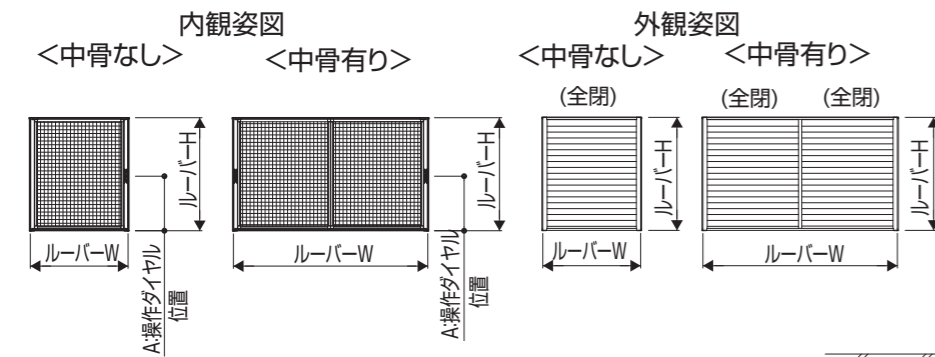
お願い

- 商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。
- 組立・施工は、所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。
- 躯体への取付の際は、仮固定後、放置せず、ただちに本固定してください。
- 施工前に部品の対角を測り、ねじれ・ゆがみのないことを確認してください。施工後、各部の締め忘れやゆるみがないかよく確認してください。また、室内側から本体を強くゆすり、がたつきやゆるみがないかよく確認してください。
- 商品の上に乗ったり、はしごを掛けしないでください。商品の変形だけでなく、落下事故の原因になります。
- 取扱説明書・使い方&お手入れガイドブックを施主様にお渡しください。

全体構成図

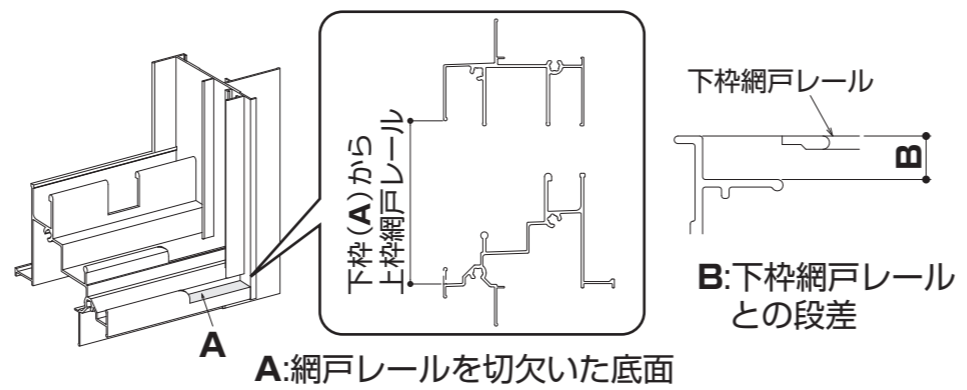


納まり参考図 縮尺 1/5 単位：mm

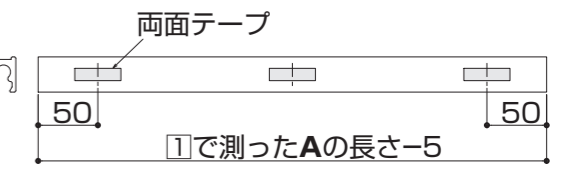


オプション(段差アタッチメントの取付)

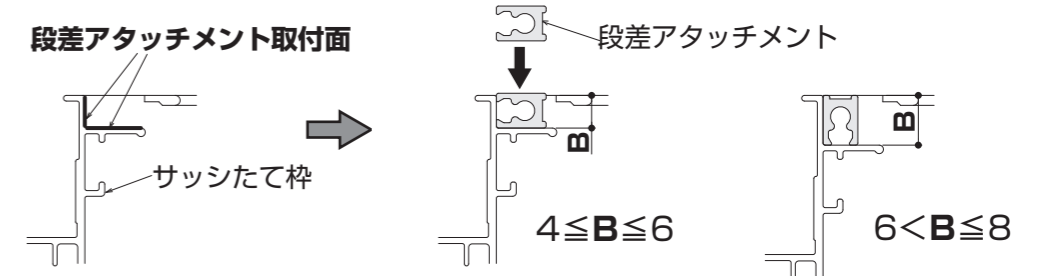
① 下枠(A)から上枠網戸レールまでと下枠網戸レールとの段差(B)の寸法を測ってください。



② ①で測ったAの長さ-5に切断し、両面テープを両端と中央に貼ってください。



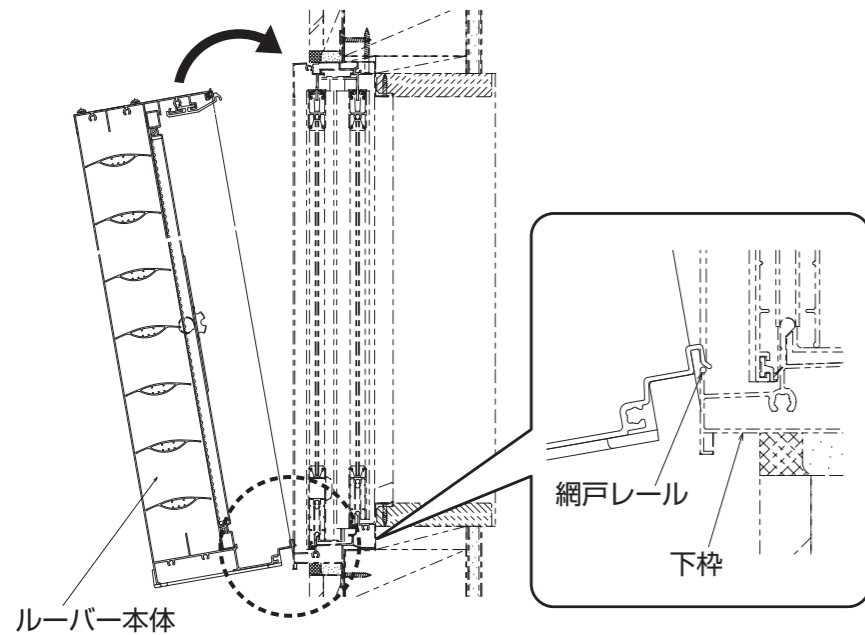
③ 取付面を清掃後、段差アタッチメントを向きに注意して貼り付けてください。



この施工上の注意/施工手順は製品施工後に、はがしてください。必ずこの指示に従い施工を行ってください。

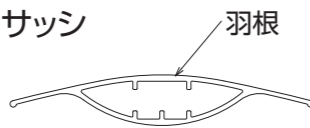
注意/施工手順

- ①ルーバー本体をサッシ網戸レール下枠に引っ掛けてください。

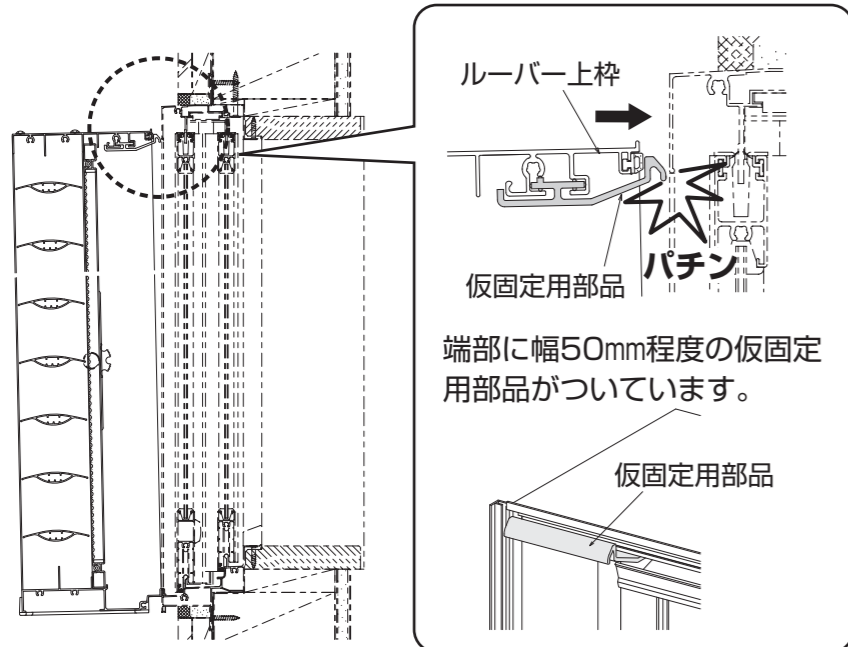


ポイント

引っ掛ける前に羽根角度をあらかじめ水平の向きで固定しておく、サッシ下枠が見やすくなります。

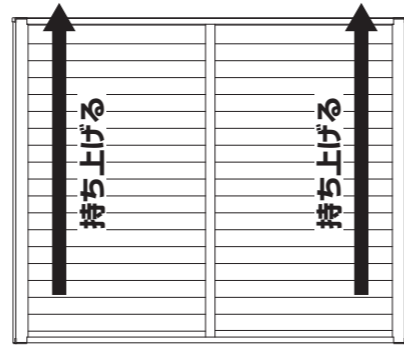


- ②ルーバー上枠の両端に取付けてある仮固定用部品がパチンとはまるまで、ルーバー上枠に押し込んでください。

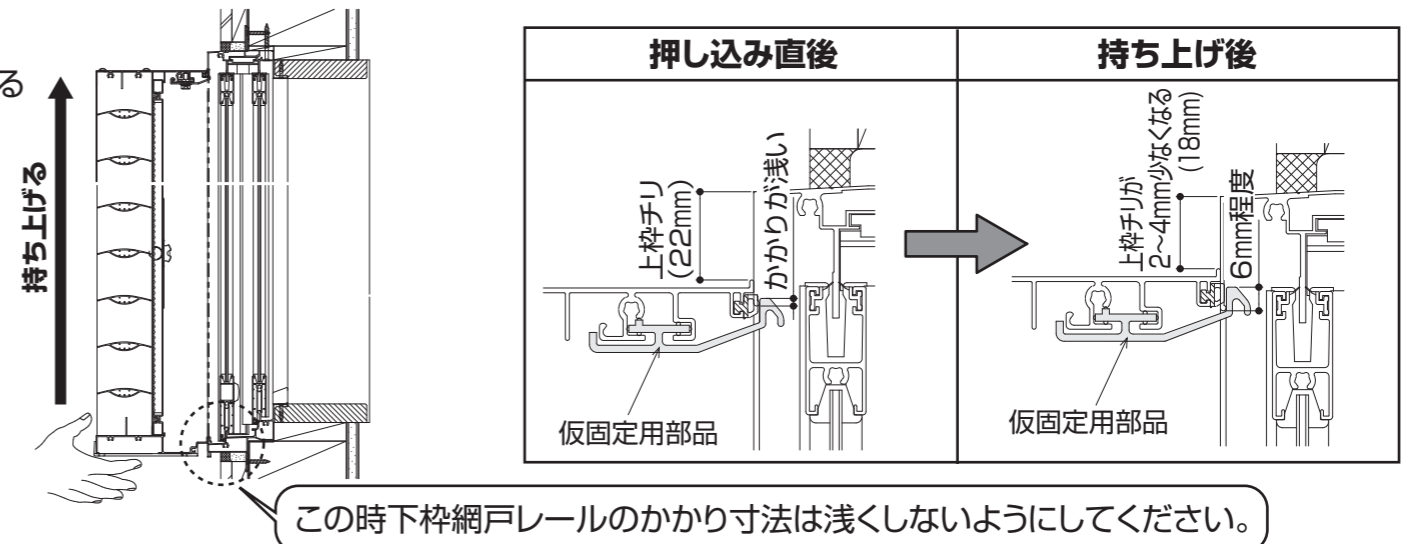
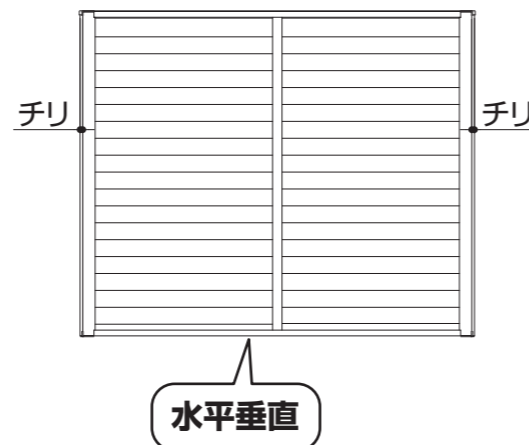


端部に幅50mm程度の仮固定用部品がついています。

- ③本体端部を手で持ち上げてください。仮固定用部品のかかりが浅くなっている場合も持ち上げることで正常なかかりになります。



- ④ルーバー本体の左右のチリや水平垂直を確認してください。

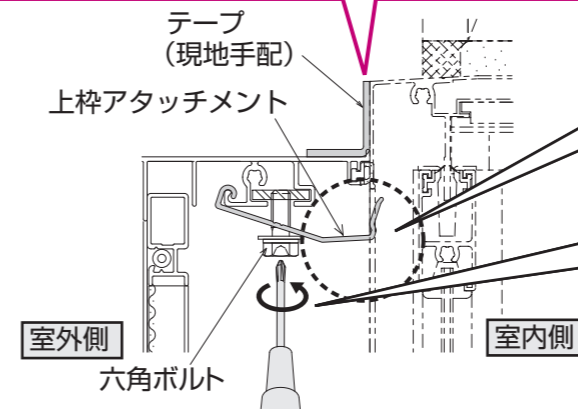


この時下枠網戸レールのかかり寸法は浅くしないようにしてください。

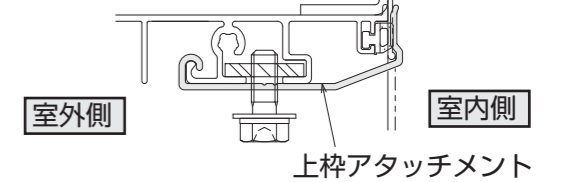
- ⑤下図のようにテープ(現地手配)を貼り、仮止めしてください。

注意

しっかり固定できるテープを必ず貼ってください。窓枠・躯体のゆがみなどで仮固定用部品のかかりがゆるくなっている場合、本体が倒れるおそれがあります。



- ⑥室内側から上枠アタッチメントをサッシ上枠にはめ込んでください。



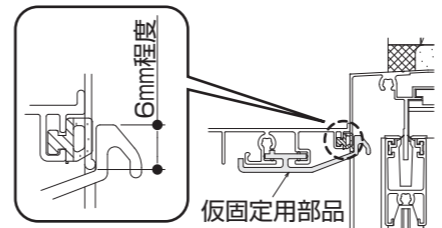
- ⑦上枠アタッチメントを手で持ち上げて六角ボルトを締付けてください。(ルーバーW ≤ 1000 : 2本)
(ルーバーW > 1000 : 4本) ※先に両端を締付けてから、中央部2本を締付けてください。

- ⑧仮止めしたテープをはがしてください。

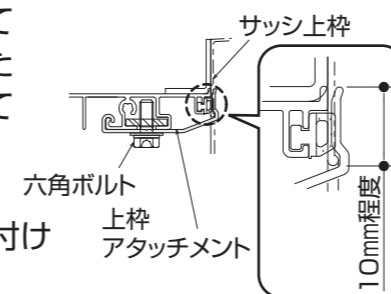
変更

最終チェックポイント 施工完了時に必ずご確認ください。

- ①左右両方の仮固定用部品がサッシ上枠にかかっているか確認してください。

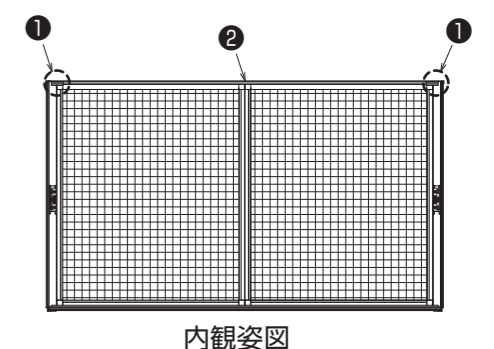
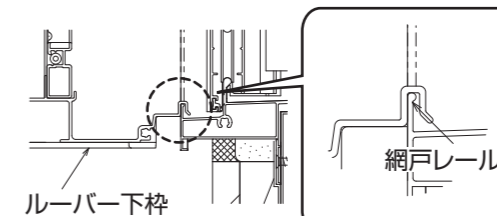


- ②上枠アタッチメントが全長に渡ってサッシ上枠にかかっているか、また平行に取付けられているか確認してください。平行 万曲など



- ③六角ボルト(全箇所)が最後まで締付けられているか確認してください。

- ④ルーバー下枠が網戸レールに引っ掛かっているか確認してください。



最後に商品を強くゆすり、ゆるみやがたつきがないか確認し、施工を完了してください。

上記のポイントが守られていないと、本体が倒れるおそれがあります。